

市政報告

令和4年度 予算特別委員会 局別審査

建設局/福祉局

紙面の都合上、質問項目と一部質問のみ掲載。



建設局

3月7日

■新垂水体育館への動線整備について

■質問:しらくに高太郎/歩道橋の在り方を検討する中で、エレベーターの設置を含めたバリアフリー化が出来ないかと昨年から申し上げておりますが、その後の検討状況はいかがか。また、既存の歩道橋から西水環境センターまで、真っすぐに歩道橋を伸ばすというぐらいのことも、あわせて検討してもらいたい。

■交通安全対策について

■1号館前の通路について

■私道の公道化、下水道引継ぎについて

■質問:しらくに高太郎/垂水区内においても、様々な経緯から、幅員の狭い私道がある。沿道の方が協力して公道化に向けた動

きをとることがあるが、公道化の方向性が見えたとしても、道路下にある下水道については別の基準になるとのことだ。その場合、結果的に道路は公道だが、下水道を市へ引き継がないため、私の下水道のまま沿道のみなさんで管理し続けるということになってしまう。道路が公道化できるのであれば、それによって下水道も市で管理するという取り扱いにすべきだと思うがいかがか。

■電柱のスリム化について

福祉局

3月8日

■市内企業・事業所への障害者雇用の促進

■重症心身障害児者の受入体制について

■特別養護老人ホーム等の整備について

■質問:しらくに高太郎/比較的費用負担の軽い特別養護老人ホームは特に重要度の高いものであると考えている。特別養護老人ホームの入所待ちの方は全国で29万人いるとされている。神戸市における入所待ちや施設整備状況や特別養護老人ホーム等を含む介護保険施設整備にかかる今後の展開について伺いたい。

■民生委員不足について



令和4年度神戸市の予算

海と山が育む グローバル貢献都市の実現

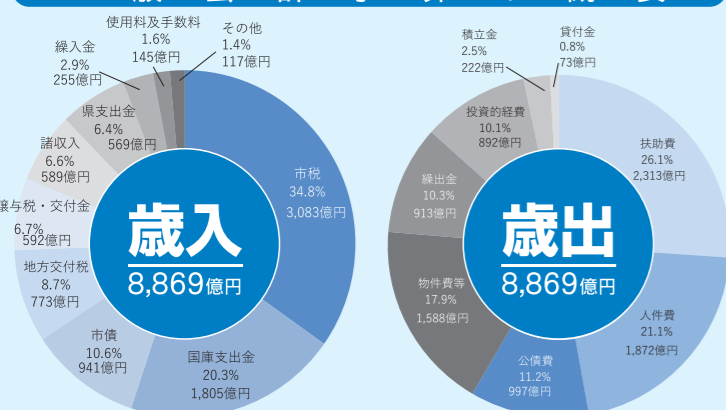
予算総額: 1兆8,804億円 (前年比: +273億円)

●一般会計: 8,869億円(前年比: +165億円)
福祉、教育、道路・公園の整備など、市の基本的な事業を行う会計です。主に、市税や地方交付税などによってまかなわれます。

●特別会計: 6,605億円(前年比: +70億円)
特定の収入で特定の事業を行う会計です。国民健康保険や介護保険、市営住宅など、神戸市では11会計あります。

●企業会計: 3,330億円(前年比: +38億円)
主に利用者のみなさんが支払う料金収入等で事業を行う会計です。バスや地下鉄、上下水道など、神戸市では7会計あります。

一般会計予算の概要



一般会計の支出を 58 市民一人あたりにすると 58万円になります

福祉の充実に 約23.7万円	教育・文化の振興に 約9.4万円	環境・衛生の向上に 約5.0万円
道路・公園に 約2.9万円	産業の振興に 約0.8万円	住宅・まちづくりに 約3.1万円
消防・救急に 約1.3万円	市会・区役所・市役所の 行政の運営などに 約5.7万円	市債の返済に 約6.6万円

新型コロナワクチン接種について 3回目接種予約のご案内など

※事前予約はホームページからが便利です。お電話でも予約可能です▶078-277-3320(平日:08:30~20:00 土日祝:08:30~17:30)
●**新型コロナウイルス専用健康相談窓口** 078-322-6250(24時間受付 多言語対応)
●新型コロナウイルスの感染を心配されている方 ●予防・感染症に対する相談のある方 ●感染者と接触があった方

神戸市政報告

編集・発行:
自由民主党神戸市会議員団
〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5-1
TEL.078-322-5846
http://www.jimin-kobe.com



本会議場で質問する
神戸市議員
しらくに高太郎

福祉環境委員会 委員 神戸市議員 垂水区 しらくに高太郎

令和4年第1回定例会で、自由民主党神戸市会議員団を代表し、質疑を行いました。ウラ面に質疑・答弁要旨を掲載いたしました。ご一読ください。

市政報告を作成致しました。ぜひご一読いただき、ご意見やご提案等いただければ幸いです。

令和4年度神戸市予算は市民の命と健康を守り、コロナ後の新たな時代をリードする施策を積極的に展開するものとなっています。この紙面に掲載出来ないこともたくさんございますが、引き続き、より良い神戸・垂水のまちづくり、そして神戸市政の発展に向けて地道に努力してまいります。

神戸市議員 しらくに高太郎

福祉環境委員会での 主な質疑項目について

- 健康局**
 - 高齢者施設入居者の入院調整について。
 - PCR検査のCT値について。
 - ワクチン接種や帰国者の自宅療養管理について。
- 福祉局**
 - 駅舎のバリアフリー化について、県の「条件」の撤廃と拡充を要望。
 - 介護職等における人材派遣の実態について。
 - 医療的ケア児の相談支援体制について。
- 環境局**
 - 海洋プラスチック問題について
 - 空き瓶収集について

世界のパールブリッジを愛する会

Tio舞子店舗会の皆様を中心に、私と「世界のパールブリッジを愛する会inKOBE舞子」という会を立ち上げ、神戸市、兵庫県関係者もご出席の下、発足式を行いました。明石海峡大橋の愛称はパールブリッジであり、本州側は、垂水区舞子の地であることをアピールしてまいります。(R3.10.30)



税財源の不均衡是正を要望

自民党本部において政令指定都市の市会議員が集まり、党所属国会議員に対し、国と地方の税財源の不均衡の是正を要望する「指定都市行財政問題懇談会」に副委員長として出席致しました。私からは固定資産税の軽減措置と地方消費税の配分等について要望致しました。(R3.11.25)



平磯緑地内の遊歩道について

「平磯緑地内の遊歩道が暗い」というご相談がありましたので、平磯緑地と新しく出来る垂水体育館への歩道整備の状況を見てまいりました。すでに東垂水駅の歩道橋から西側については、ベンチの設置や街灯周辺の樹木の伐採を予定していただいておりますが、東側の遊歩道へも光を入れ、そして、塩屋漁港の美しい海が見えるように申し入れしました。(R4.1.28)
→今年度中に整備をしていただくことになりました。



ロシアのウクライナ侵攻に抗議

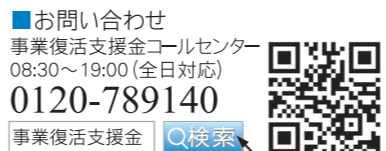
神戸市会臨時本会議が開会され、「ロシアのウクライナ侵攻に対し、厳重に抗議の意を表する決議」が満場一致で採択されました。(R4.3.1)



「事業復活支援金」の受付が始まっています ■申請期間 2022年5月31日まで。

中小企業庁 コロナの影響で売上が減少している事業者の皆様へ、「事業復活支援金」の受付が始まっています。中小法人は上限最大250万円、個人事業者は上限最大50万円を支給。給付対象の条件や申請方法につきましては、下記でご確認ください。

■お問い合わせ
事業復活支援金コールセンター
08:30~19:00(全日対応)
0120-789140



給付額		法人		
売上高減少率	個人	年間売上高※2 1億円以下	年間売上高※2 1億円超~5億円以下	年間売上高※2 5億円超
▲50%以上	50万円	100万円	150万円	250万円
▲30%以上50%未満	30万円	60万円	90万円	150万円

※1 2018年11月~2019年3月 / 2019年11月~2020年3月 / 2020年11月~2021年3月のいずれかの期間(基準月を含む期間であること)
※2 基準月を含む事業年度の年間売上高



1. 人口減少社会におけるまちづくりについて

■質問：しらくに高太郎
人口減少でも市民満足度が高く、神戸の環境をいかし、活力あるまちづくりに重きを置いた政策展開が必要である。そこで、「用途地域の見直し」素案が公表されると聞かすが、その目的と効果、また住民への説明と理解が必要と考える。また、空家・空地活用策全体の方向性と事業の関連性について伺いたい。

■答弁：久元市長
今回の見直しは初めての試みで、地域特性に応じて「住みやすく働きやすいまちを実現すること」を目的とし、市域全体の人口減少対策へつなげることを期待している。素案の公表と意見募集は、広報こうべ4月号に詳しい記事を掲載し、区域内は更に詳しい図面などを配布する。また住民説明会も行い、素案の丁寧な周知を行いながら、様々な意見を踏まえてこの素案についても見直し、最終案を固めたい。

基本は使える空家・空地は活用する。使えない空家は、特に危険な家屋は解体して土地の活用を図る、これが基本である。市内の地域に密着した建築家の皆さんにも参画いただき、空き家活用支援制度を立ち上げた。来年度は、各施策を整理統合しスピード感を持って取り組んでいきたい。

2. 女性の活躍推進について

■質問：しらくに高太郎
本市の30歳以降の女性就業率は、全国平均よりも低く、また新型コロナウイルスの影響を受けている観光・宿泊業、飲食業やアパレル業をはじめとする業界は、女性のパートやアルバイトの多い業種でもあり、女性の働く場の確保や働きやすい環境づくりが課題だ。また女性の活躍は、活力あるまちづくりの要であると考え。現状の課題認識と中長期的な視点による取り組みの方向性について伺いたい。

■答弁：久元市長
平成27年の国勢調査で、市内の女性の就業率は、30歳代後半以降の年代で全国平均を下回り、就業構造基本調査によると、働く

自信がないために仕事を探していない女性が約9千人いると推計される。また、管理職の職業従事者に占める女性の割合は、16.3%という現状である。また、昨年の統計では、関西で保育所の待機児童が最も大きく減少した都市の一つに挙げられたので、子育て支援を進めることは重要と考えている。また、育児休業から円滑な復帰のサポートも重要。来年度は一時保育を週1日から5日に拡充し、子育て期の仕事と子育ての両立を全面的に支援していく。

2025ビジョンでは、令和7年度までに再就職やキャリアアップを希望する女性を3千人支援することを目標にしているため、計画的に取り組んでいきたい。

3. カーボンニュートラルの実現に向けて

■質問：しらくに高太郎
太陽光発電設置条例を制定したが、令和3年度12月末時点での申請件数は3件と少なく、整備を断念する事業者もいると聞いている。10kwと小規模太陽光発電であっても大規模施設と同様の規制なので、安全性の確保を前提に、申請者の負担を軽くし一層導入を促進すべきではないか。

■答弁：今西副市長
小規模であっても新幹線を止めるという大きな事故が発生しており、安全面の最低限の審査は必要と考えている。今後は事業者が施設基準の重要性を十分にご理解いただき、手引きの内容をさらに分かりやすく見直しに努め、より丁寧な説明を行ってまいりたい。

■質問：しらくに高太郎
カーボンニュートラルを実現するため、太陽光のみならず、神戸にある3つのダムや高低差のある送水管を利用し水力発電設備も有効であると考えがいかがか。

■答弁：山本水道局長
水道施設の上部空間を利用した太陽光発電を7か所、また千刈ダムなど排水路へ送水する際の高低差を利用した水力発電も5か所導入している。水力発電が導入できる候補地を官民連携で調査したが、条件を満たす候補地は実際には限定的であるということが分かった。しかし、カーボンニュートラルへの貢献は非常に重要な課題なので、小規模発電施設が中心になってくると思うが、条件が整った場所には積極的に取り組んでいきたい。また来年度は、本山調整池での実現可能性の調査を予定している。

4. 神戸空港の国際化と利便性向上について

■質問：しらくに高太郎
第11回関西3空港懇談会で、2025年大阪・関西万博の開催やその後の成長を見据え、神戸空港の国際化を含む空港機能のあり方について、関西エアポートと本市が検討を深化させ次回の懇談会で報告することが合意された。神戸空港の国際化について、市長の想いを伺いたい。

■答弁：久元市長
神戸空港の国際化に対する理解は、関西全体の関係者の間で

確実に深まっているということを感じることができた。次回懇談会では、関経連や関係自治体、国などの関係団体の協力の下、関西3空港の中で、神戸空港が関西経済の発展、関西3空港の互いの成長につながるような議論を行い、合意出来る取組を進めていきたい。

■質問：しらくに高太郎
神戸空港と新神戸駅のアクセス強化は従来からの課題だが、予算案では新神戸トンネル南伸部の事業化を検討する予算が計上されている。今後のスケジュールと道路ネットワークの充実の考え方とあわせて伺いたい。

■答弁：油井副市長
新神戸トンネルの国道2号の出入り口から港島トンネルまでの約1キロはトンネルがなく、南伸部と国道2号に接続する南方面の出入り口を整備することで神戸空港と新神戸駅のアクセスが強化できるのではないかと考えている。今令和4年度は事業化に向けた詳細な整備効果の分析、環境アセスメントなどを行う予定である。大阪湾岸道路西伸部と合わせ、早期事業化を目指して努力する。

■要望：しらくに高太郎
ポートライナーが北埠頭からそのまま北へこの南伸部の地上に整備できれば理想だと思う。

5. 救急車の出動における課題について

■質問：しらくに高太郎
新型コロナの拡大による救急搬送困難事案は、全国で過去最多を更新している。これまでの成果と課題、コロナ収束後も見据え、どのような対策を講じるのか伺いたい。

■答弁：油井副市長
救急搬送困難事案が令和4年1月中旬以降、多数発生している状況である。#7119や熱中症対策などにより救急車の適正利用が進んでいる。困難事案の増加に対しては、市内医療機関に受入を要請し、医療情報システムのICTの活用で適切な病院選定に繋がっている。また11月よりシニア健康相談ダイヤルも設置し不安解消につながるアドバイスや医療機関の案内等も行っている。今後もこれまでの取組を進めるとともに、医療情報システムの運用改善をし、必要な方に迅速に駆けつけることが出来るようにしたい。

■質問：しらくに高太郎
現在、市内で複数の高齢者施設と民間病院が協力して協議会を立ち上げ、施設入居者の健康状況を提携病院と共有し、緊急時には病院所有の民間救急車が出動し、受入れ可能な病院との調整を行うシステムを構築する動きがある。この救急車が運用できれば、協議会の高齢者施設以外の患者からの要請があれば、搬送可能と聞いている。増加する救急搬送の需要対策にも大いに寄与するものと受留めているので、神戸市としても医師会との調整や費用負担の軽減など積極的な支援を行うべきと考えがいかがか。

■答弁：油井副市長
協議会を設立し医療介護の連携体制を実現することで安心して暮らせる地域社会の実現を目指して協議をされていると伺って

る。高齢者施設のみならず、事前に登録された高齢者が民間救急車により搬送が行われるのであれば、地域の高齢者にとって選択の幅が広がり、地域包括ケアシステムの実施や救急需要対策に繋がる可能性があると思っている。

現時点では、具体的にその内容は承知しないが今後協議会のご相談があればその内容を踏まえて必要な対応を検討してまいります。

6. 宿泊療養施設の受入体制の拡充について

■質問：しらくに高太郎
福祉施設でのクラスターが多発している状況で、コロナ陽性の入居者の多くは入院出来ず、施設で療養を続け、嘱託医や施設職員が日々奮闘している。この厳しい現実に対する思いは、保健所職員の皆様も同じ思いかと推察する。

今後は、ニチイだけでなく受入施設を早急に拡充し、また酸素投与が必要な要介護者に限定するのではなく、状態が悪化した場合は、入院困難という状況を鑑み、入所させる対応が出来ないのか見解を伺いたい。

■答弁：小原副市長
人数に限りはあるが、2月5日からニチイ神戸ポートアイランドセンターで、要介護度の方で中等症の酸素投与が必要な方が入所出来る体制を整えた。また3つの宿泊療養施設は既に酸素供給設備を整備し、医師の電話往診体制も強化した。今後も高齢者施設で感染者が増え続ける場合には、医療が必要な患者を受け入れることが出来ないか、前向きに検討していきたい。



自由民主党神戸市議員団 神戸市議員 垂水区 しらくに高太郎

より良い神戸・垂水へ。目標にダッシュ!!

神戸市会を傍聴しよう!!

傍聴とは、市民が本会議の様子を直接見聞きできる制度のことです。神戸市会では、本会議だけでなく委員会（常任委員会・特別委員会）も定員の範囲内で傍聴することができます。本会議場には、車椅子で傍聴することができる場所（4席分）も用意しています。また、手話通訳を希望される方は、事前に市会事務局総務課にご相談ください。

市役所1号館25階の市会事務局で傍聴章の交付を受けてください。会議の始まる1時間前から先着順で受付します。※マスク着用。発熱（37.5℃以上）など、風邪症状があるときは、ご遠慮ください。